

SAPPORO

【札幌軟石編】

文化財散歩

さつぽろ

【発行】

札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会（事務局：札幌市市民文化局文化部文化財課）
札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階 電話 011-211-2312

令和3年3月



令和2年度文化庁
文化資源活用事業費補助金
（観光拠点整備事業）



札幌軟石編ストーリー

札幌軟石4万年の旅

—地史を揺るがす大噴火から“カワイイ”まで

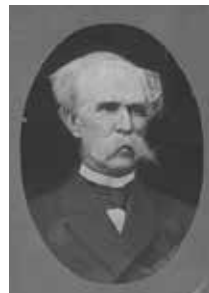
札幌軟石は、約4万年前に起きた支笏火山の大噴火による火砕流が冷え固まったものです。明治時代以来、建築材料として使われたのはもちろん、採掘や運搬の歴史においても大きな軌跡を残しています。今なお切り出しが行われ、カワイイ雑貨やインテリアへの用途も広がる札幌軟石は、地産地消の資源として進化を続けています。

開拓使も着目した耐火性の強い札幌軟石

約4万年前、支笏火山は巨大噴火を起こしました。火山灰や軽石は高さ3万mまで噴き上げられて広く降り積もり、火砕流が流れ下りました。これらの噴出物は、太平洋に注いでいた石狩川の行く手を阻み、流路を日本海に変えてしまったほどの膨大な量だったとも言われています。それが冷えて固まった溶結凝灰岩が、札幌軟石です。支笏火山の跡は小さくぼ地になって水が溜まり、カルデラ湖の支笏湖となりました。

それから遙かな時が流れた明治時代、開拓初期の建物は木造で断熱性が低く、寒さをしのぐために家の中で火を焚くことも多かった北海道では火災が深刻な問題でした。そこで開拓使は、米国より招いたお雇い外国人、ホーレス・ケプロンらの助言を受け、耐火性の強い建材として札幌軟石に着目します。商家の蔵、店舗、公共建

築、教会、倉庫など軟石建物が次々に建てられました。空隙率が高く保温性も優れていたのも、野菜や果物の保管、酒・味噌・醤油の醸造庫としても最適でした。東区や北区ではタマネギ倉庫、豊平区ではリンゴ倉庫、厚別区ではサイロなど地域の特性を反映して多彩な使われ方をしました。



ホーレス・ケプロン
(北海道大学附属図書館所蔵)



札幌軟石を使った建物
(日本基督教団札幌教会)

軟石とともに発展した石山地区

札幌軟石の切り出しは、昭和になってチェーンソーが導入されるまで、石工の手によるものでした。ツルハシで石に溝を作り、金矢を打ち込んで石を浮かせて割り出すのです。石工がツルハシを振るう回数は1日数万回にもなったとか。割り出されたままの石の表面から凸凹をツルハシで取り除くことを野取りといい、仕上げには熟達した石工の技が冴えました。

運搬の面では札幌の交通にも大きな影響を与えました。札幌軟石を運ぶため、明治42年(1909年)に石山から南2条西11丁目付近まで馬車鉄道が敷設されました。現・国道230号の通称「石山通」は、石山の軟石をはじめ、硬石など地域産の石材が運ばれた道であったことに由来します。大正7年(1918年)には豊平と定山溪を結ぶ定山溪鉄道が開業し、石山地区には石切山駅もできました。今、駅舎は石山振興会館となり、ぼすとかん(旧石山郵便局)とともに地域の拠点になっています。ぼすとかんのインテリアには札幌軟石のアートがあしらわれています。



つるはしなど石切りに使う道具



ぼすとかん(旧石山郵便局)

知ってる？



女神はなぜ目隠しをしているの？

大通公園の西端に面する旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)。令和2年12月に国の重要文化財に指定されました。正面玄関の上部には目隠しをした法の女神像、左右には天秤と剣のレリーフがあります。女神像が目隠しをしているのは、貧富の差や権力にとられない法の前の平等を示しているからです。



目隠しをした女神像(旧札幌控訴院庁舎)

「進化」を続ける札幌軟石

街に深い情感を添え、かけがえのない景観を形づくってきた札幌軟石。鉄筋コンクリートの時代になって軟石建物は減っていますが、平成27年(2015年)の調査では市内に約300棟以上が残っており、飲食店やギャラリーとしても活用されています。

そのような中、令和2年12月に札幌市資料館(旧札幌控訴院庁舎、大正15年(1926年)建築)が国の重要文化財に指定されました。美しさはもちろん軟石と煉瓦を組み合わせた構造、2階床の鉄筋コンクリートの採用など新旧の建築技術が融合していることも評価されました。

石山地区を訪れると、採掘跡が古代遺跡を思わせるアート空間として整備された石山緑地や、藻南公園の札幌軟石ひろばとして野外展示された最古の採掘跡も見ることができます。吸水性の良さを生かしたかわいいアロマストーンや、コースターに変身した札幌軟石を購入することもできます。地史を揺るがす

大噴火から4万年。札幌軟石は遥かな旅の途上で進化を続けています。



旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)



石山緑地

ストーリーに関連する文化財

文化財の名称	指定等の状況	所在地
石狩川	指定なし	北区、東区
分高城商店(石造倉庫)	札幌景観資産(第25号)	東区北7条東4丁目28
秋野総本店薬局	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.7	中央区南1条西1丁目
旧沼田家倉庫(現・豆蔵珈琲「宮田屋」東苗穂店)	札幌景観資産(第30号)	東区東苗穂5条2丁目11-18
篠路駅周辺の倉庫群	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.30	北区篠路3-7
八幡学園資料館(旧吉田牧場畜舎・石造サイロ)	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.40、札幌景観資産(第9号)	豊平区月寒東1-12~13
北海道大学旧第二農場釜場	国重要文化財附指定	北区北18条西7目
北海道大学旧第二農場原動機室	国重要文化財附指定	北区北18条西7目
北海道大学旧第二農場サイロ	国重要文化財附指定	北区北18条西7目
近藤牧場(石造サイロ)	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.28	北区新川694
旧馬場農場のサイロ	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.36	厚別区厚別中央2-3
旧宇納牧場サイロ	指定なし	厚別区上野幌1-5
日本基督教団札幌教会(旧札幌美以教会堂)	国登録有形文化財、さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.4、札幌景観資産(第7号)	中央区北1条東1丁目
カトリック北一条教会司祭館カテドラルホール	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.3、札幌景観資産(第23号)	中央区北1条東6丁目
ツルハシなど石切に使う道具	指定なし	
石山通(国道230号)	指定なし	中央区・南区
旧石切山駅(現・石山振興会館)	札幌景観資産(第10号)	南区石山1条3丁目1-30
旧石山郵便局(現・ぼすとかん)	さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.41、札幌景観資産(第5号)	南区石山2条3丁目1-26
石山神社	指定なし	南区石山2条3丁目254
旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)	国指定重要文化財、さっぽろ・ふるさと文化百選(建物)No.18	中央区大通西13丁目
石山緑地	指定なし	南区石山78-24外
石山軟石採掘場跡	さっぽろ・ふるさと文化百選(遺跡)No.68	南区石山78
藻南公園	さっぽろ・ふるさと文化百選(遺跡)No.67「伝説・おいらん淵」	南区川沿9~11条1丁目、真駒内真駒内柏丘7・8・12丁目(公園範囲)
札幌軟石の小物	指定なし	

※上記一覧には、公開されていないものもあります。

※北海道の産業とくらしを支えた札幌軟石に関連する石文化は、「札幌軟石」の名称で北海道遺産に選定されています。

知ってる？



鳥居や狛犬も軟石づくり 石山神社

札幌市南区の石山地区は札幌軟石の産地として、多くの軟石の建物が残る地域ですが、地区内にある石山神社では、鳥居をはじめ、狛犬や灯籠なども軟石で作られています。境内には歴史を伝える多くの石碑もあります。多くの年中行事も行われ、地域の人たちに親しまれている神社です。



札幌軟石でつくられた狛犬

ストーリーに関連する文化財をめぐってみよう!

1 北海道大学農学部第二農場
 観覧時間 10:00 ~ 16:00
 休館日 第4月曜日、冬期間(11/4 ~ 4/28)

2 分高城商店(石造倉庫)
 個人宅につき非公開

3 日本基督教団札幌教会
 外観のみ見学可

4 カトリック北一条教会 司祭館カドラルホール
 換装する聖堂は教会行事がなければ見学可
 (許可を得てから観覧してください)

5 旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)
 観覧時間 9:00 ~ 19:00
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
 年末年始(12/29 ~ 1/3)

6 秋野総本店薬局
 店舗利用者のみ内部観覧可

7 石山通(国道230号)

8 藻南公園

9 石山緑地、石山軟石探掘場跡

カフェでちょっとひと休み

A) 喫茶室ハルニレ (豊平館内)
B) SIAFラウンジ (旧札幌控訴院庁舎(札幌市資料館)内)
C) ナガヤマレスト (旧山崎四郎邸及び旧三菱紙業寮内)

営業時間はウェブサイト等でご確認ください。

10 旧石切山駅(現・石山振興会館)
 内部観覧可
 (事務所なので、許可を得てご見学ください)

11 旧石山郵便局
 観覧時間 10:00 ~ 18:00
 休館日 火曜日、水曜日

12 石山神社

13 旧沼田家倉庫
 店舗利用者のみ内部観覧可

14 旧馬場農場のサイロ
 外観のみ見学可

15 八紘学園資料館
 内部見学要事前許可
 (八紘学園 011-351-8236)

16 旧宇納牧場サイロ
 敷地外から外観見学可